

令和2年度 紀伊小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 杉野 裕香子

作成日

令和2年 4月20日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ◇子供の学力を定着させてほしい
- ◇思いやりある子供に育ててほしい
- ◇なかよく楽しい学校にしてほしい
- ◇地域に誇りをもってほしい

【学校教育目標】

心豊かにたくましく生きる子供を育てる

【めざす児童（生徒）像】

- ・明るく健康でたくましい子供
- ・人格を尊重し互いに敬愛の心をもつ子供
- ・自主的で創造力の豊かな子供
- ・自ら進んで実践する子供

前年度の学校評価

- 算数科を中心に研究授業に取り組んだ
- △「書く力」「読み取る力」の向上が必要
- △家庭学習（家庭教育）の充実を図る
- △地域とのつながりをさらに強く

児童（生徒）の実態

- 明るく素直
- 与えられた仕事や指示されたことは真面目に努力する。
- 粘り強さに欠けたり自ら進んで実践したりする態度が十分でないところもある。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎学力の向上を図る
- ◎教員の授業力の向上を図る
- ◎家庭学習の習慣化及び充実
- ◎読書活動の推進

具体的な取組

- ◇「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底する（特に自分の考えを書くことに重点を置く）
- ◇算数科等を中心に支援体制をつくり、個に応じた指導・支援を行う
- ◇研究授業の協議が活発に行えるよう二つのグループに分け、若手教員からの質問にも対応し、授業技術の向上を目指す
- ◇「家庭学習の手引き」を見直し、全家庭に配布。家庭学習の大切さを啓発する
- ◇読み聞かせを推進し、図書室を積極的に利用する

指標

- * 児童アンケートで「毎日の勉強がわかる」を全学年90%台にする（昨年度は、低学年：82.6%、高学年：90.3%）
- * 保護者アンケート「家庭学習の習慣が身につけている」を80%以上にする。（昨年度は、71%）
- * 県学習到達度調査で各教科、正答率が県平均を上回る

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進
- ◎良好な仲間づくりの形成

- ◇教科書等の教材以外に、外部から講師を招く機会を持つ
- ◇自主的に委員会・児童会活動に取り組む態度を育む
- ◇ペア学習、集会、学級会等で関わり合う機会を持つ
- ◇紀伊幼稚園・校区内の支援学校との交流を定期的に行う
- ◇いじめアンケートを年間、複数回実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。

- * 児童アンケートで「学校が楽しい」の割合が昨年度より増える（昨年度は全学年90%を超えていた）
- * 保護者アンケートで「あいさつがよくできている」を80%台に。（昨年度は71%）
- * 他校（園）と学期毎に交流

健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る
- ◎危機回避能力の育成

- ◇「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- ◇休憩、昼休みは外に出て身体を動かすことを推奨する
- ◇大休憩に全校チャレンジ（2学期、なわとび、3学期10分間走）を実施する
- ◇体育科の授業の充実を図る
- ◇交通安全教室や避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- * 保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90%に（昨年度は80%）
- * 体力テストでは全国平均を上回る

地域とともにある学校

- ◎積極的に情報を発信する
- ◎地域や保護者からの提言の吸収に努め学校経営に生かす
- ◎地域の資源活用を進める

- ◇HP、各種便り等を通して学校の情報を発信する
- ◇地域の文化まつりや夏祭りへの協力・参加体制を整える
- ◇地域の見守り委員の方を招き「ありがとう集会」を開く
- ◇懇談会やアンケートから学校へのニーズをとらえる
- ◇ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材、地域の自然・文化を活用する

- * 保護者アンケートで「学校の様子がわかる」を90%台にする（昨年度は85.6%）
- * 「ありがとう集会」は年間2回、外部講師は学期に複数回招く

◎：特に重点的に取り組むこと